

2016年5月。平日午後の「よこはま」をゆったり楽しむコンサートシリーズが新たにはじまります。プログラム第1部と第2部の間、90分の休憩時間は、お客様にとってもアーティストにとっても新鮮で自由なひととき。アーティストの方々には、この休憩時間を有効に活用していただくことを強く提案しました。その結果、第1部と第2部とでまったく異なる2つの世界を描くプログラムや、コントラストをつけて1人の作曲家の奥深くに迫るプログラム、さらには自身の個性をより際立たせるべく工夫されたプログラムが出来上がり、90分という休憩時間もたらず新鮮な効果が早くも顕われてきています。一方この時間、お客様にとっては、コンサートホールの静謐な空間から、外の世界へ自由に飛翔するひとときでもあります。ホールの表玄関に面する海辺を散歩するもよし、レストランでゆったり食事とおしゃべりに興ずるも、美術館や商業施設を回遊するもよし。観光施設や文化施設、商業施設が所狭しと立ち並ぶ、横浜みなとみらいホールの地理的特性を活かし、コンサートだけではなく、積極的に心とからだを羽ばたかせ、海に向かって開かれた横浜の地で、おおいにリフレク

シュしていただければと望んでいます。終演後には、近くの中華街や赤レンガ倉庫などへちょっと遠出をして、さらに楽しい時間を過ごしてみたいかたがでしょうか。

今シーズン出演する6組のアーティストは、新進気鋭のヴァイオリニスト毛利文香から、ロシアの実力ピアニスト、アンナ・ヴィニツカヤまで、国内外の精鋭をラインナップ。加えてクリスマス特別公演には、前橋汀子が出演。新シリーズに重みと風格を与えてくれました。個々の公演の詳細は、それぞれのチラシでの紹介に譲りますが、若いスタッフのアイデアも思いも詰め込んで、聴き応えもたっぷりながら、親しみやすい切り口も残し、あなたとクラシック音楽の距離を縮め、深めてくれる公演に仕上がります。平日午後の素敵な時間、自分へのご褒美に、ゆったり贅沢なひとときをお楽しみいただけたらとても嬉しいです。みなさまとお目にかかれるのを、アーティスト、スタッフ一同楽しみにしています！

横浜みなとみらいホール 企画・運営アドバイザー 西巻 正史

## 5月11日(水) 門脇大樹(チェロ) 津田裕也(ピアノ)

若きシェフ川瀬賢太郎のもと躍進を続ける神奈川フィルの首席チェロ奏者、門脇大樹。近年ベルリンから帰国、ソロに室内楽に遅咲きの大輪を咲かせる津田裕也。学生時代からコンビを組む同年の2人が、大学時代から温めていた秘蔵プログラムで、新シリーズのオープニングを飾る。静かな男たちの秘めたる熱いパッションを聴く！

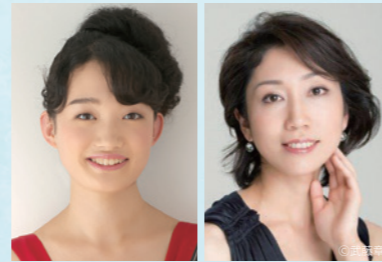


発売中 小ホール

- [第1部] シューマン: 幻想小曲集 Op.73  
ベートーヴェン: チェロ・ソナタ 第3番 長調 Op.69  
[第2部] ショパン: チェロ・ソナタ短調 Op.65  
序奏と華麗なポロネーズ 長調 Op.3

## 7月11日(月) 毛利文香(ヴァイオリン) 日下知奈(ピアノ)

横浜出身、バガニーニ国際コンクール2位の期待の新星、毛利文香。地元で待ち望まれていたリサイタルは、意欲溢れる重量級のプログラム。自身のセンスが問われるプーランク、モーツァルトから、人気のフランク、頂点に聳える「クロイツェル」まで、ヴァイオリン・ソナタの多彩にして豊かな鉱脈を、初共演の日下知奈と旅する。



3月3日(木) 発売 小ホール

- [第1部] モーツァルト: ヴァイオリン・ソナタ 第28番 小短調 K.304  
ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ 第9番 長調 Op.47「クロイツェル」  
[第2部] プーランク: ヴァイオリン・ソナタ  
フランク: ヴァイオリン・ソナタ 長調

## 9月16日(金) アンナ・ヴィニツカヤ(ピアノ)

本シリーズ、唯一の外来アーティストとなるロシア出身、ハンブルク在住のアンナ・ヴィニツカヤ。かつてリヒテル、ギレリスといった名ピアニストを数多く輩出した輝かしいロシアン・ピアニズムの系譜をいまに受け継ぐ彼女は、シューマン、ブラームスといったドイツ物とショパンのプレリュードを選曲。かつてエリザベート王妃国際コンクールで聴衆を唸らせた持ち前のスケール感と、深い叙情を活かした独特の味わいある演奏の深化に期待が膨らむ。



4月6日(水) 発売 大ホール

- [第1部] シューマン: 子供の情景 Op.15  
ブラームス: 幻想小曲 Op.116  
[第2部] ショパン: 24の前奏曲 Op.28

## 10月19日(水) 林正子(ソプラノ) 石野真穂(ピアノ)

日本人離れしたスケール感と大胆な演技で、日本のオペラシーンにインパクトを与え続けるプリマ林正子が、横浜みなとみらいホール初登場。選んだプログラムがまた凄い！得意とするR.シュトラウスのオペラと初挑戦の歌曲。それも創作の初期の出世作と栄光の最後の輝きを聴き比べようという大胆なプログラムが誕生した。R.シュトラウス・ファンはもちろん、オペラファン、リートファンも必聴。



5月6日(金) 発売 小ホール

- R.シュトラウス 創作の出発点とその到達点  
[第1部] (出発点) シュトラウス: 8つの歌 Op.10  
オペラ「サロメ」より  
[第2部] (到達点) シュトラウス: 4つの最後の歌  
オペラ「ダナエの愛」より  
オペラ「カプリッチョ」より

## 2017年1月20日(金) 福川伸陽(ホルン) 鈴木優人(ピアノ&オルガン)

N響の首席ホルン奏者を務める福川伸陽と大ブレイク中の鈴木優人との共演は、各回でピアノとオルガンを弾き分け、この2人だからこそ可能な遊びと本気の90分。息合う2人の至芸と一緒に存分に楽しみたい。



7月8日(金) 発売 大ホール

- [第1部] (ホルン&ピアノ)  
鈴木優人: モーツァルトティアーナ〜モーツァルト「ホルン協奏曲第1番」の主題によるしりとり変奏曲  
ガーシュウィン(福川伸陽 編曲): ラプソディ・イン・ブルー  
ベートーヴェン: ホルン・ソナタ 長調 Op.17  
[第2部] (ホルン&オルガン)  
J.S.バッハ(鈴木優人編曲):  
コラール「今ぞ喜べ、愛するキリストのともがらよ」 BWV734  
コラール「主よ、人の望みの喜びよ」(BWV147より)  
コラール「目覚めよ、と呼ぶ声あり」 BWV645  
ハキム: 組曲 ラプソディ〜ホルンとオルガンのための〜 より  
ブルックナーの交響曲より(ホルン&オルガン版)

## 2017年3月8日(水) 金子三勇士(ピアノ)

ハンガリーの血を引く金子三勇士。抜群の音楽性とテクニック、そして深い歌心に満ちたスケールの大きな音楽が、人々を魅了し、大きな人気を博している。そんな金子が、得意のリスト、バルトーク、そしてショパンを軸に、ピアノの名曲をプログラミング。大ホールいっばいに響き渡るピアノの音に酔いしれたい。



10月18日(火) 発売 大ホール

- [第1部] ショパン: ポロネーズ 第6番 変長調 Op.53「英雄」  
幻想即興曲 嬰八短調 Op.66  
12の練習曲 Op.10より 第12番 短調「革命」  
ラフマニノフ: 前奏曲 嬰八短調 Op.3-2「鐘」  
バルトーク: ピアノ・ソナタ  
[第2部] リスト: ハンガリー狂詩曲 第6番 変二長調  
愛の夢  
ハンガリー狂詩曲 第2番 嬰八短調  
コンソレーション第3番 変二長調  
巡礼の年 第2年 イタリアより「ダンテを読んで」

## 第1部 12:10開演(11:30開場) 第2部 14:30開演(13:50開場)

●全席指定 1日券 1,800円 第1部/第2部 各1,000円

ランチボックス券 500円(サンドウィッチ、焼き菓子、飲み物/限定150個)

●会場 横浜みなとみらいホール

※横浜みなとみらいホールモール口を出てすぐにある「カフェ・ド・クリエ」でサンドウィッチ、焼き菓子、飲み物のセットと引き換え(公演当日10:00~17:00)ができるチケットです。  
※ランチボックス券は公演当日の販売はございません。

特別公演

## 前橋汀子(ヴァイオリン) 松本和将(ピアノ)

12月14日(水) 14:00開演(13:20開場) 大ホール

日本を代表する演奏家として、音楽シーンを長らく牽引してきた前橋汀子が、本シリーズのスペシャル枠で出演。今なお尽きない探究心と音楽を愛する心で、道を窮めようとする前橋が、「スプリング」ソナタと珠玉の小品を心ゆくまで聴かせます。

ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ 第5番 長調 Op.24「春」  
バガニーニ(クライスラー編曲): ラ・カンパネラ  
ドビュッシー(ハルトマン編曲): 亜麻色の髪の乙女 他

全席指定 3,000円 Miraist Club(横浜みなとみらいホール友の会)会員 2,700円

発売日: Miraist Club会員 6月8日(水) 一般 6月15日(水)



※特別公演は、20分休憩。年間セット券の対象公演ではございません。